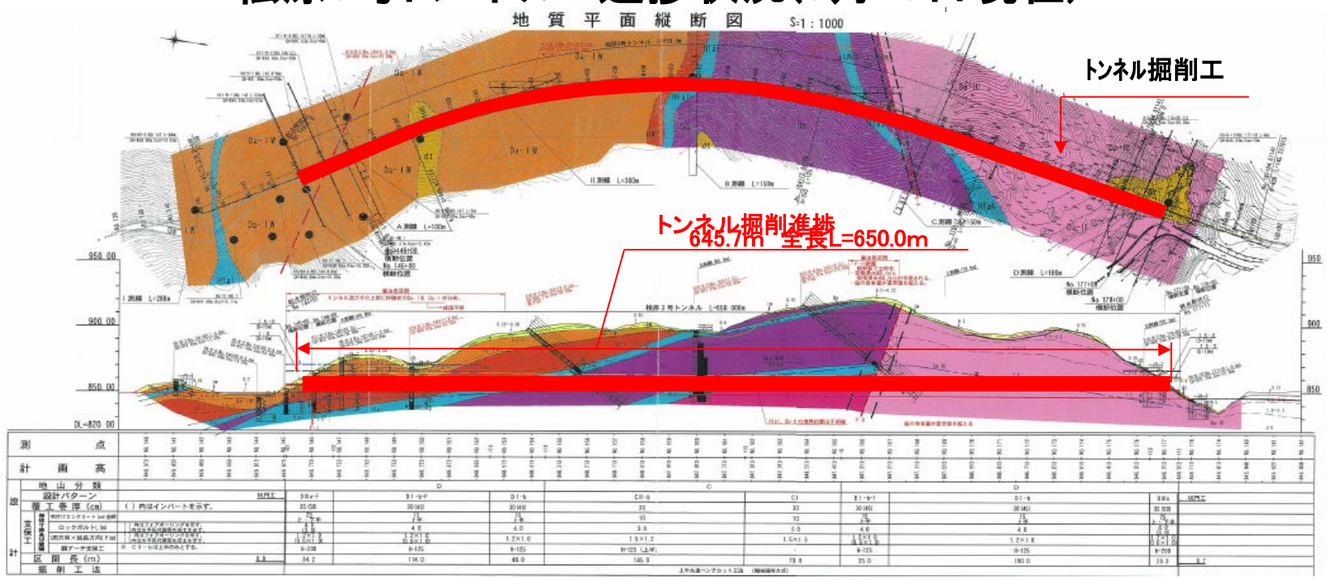
地域活力基盤整備工事(桧原3号トンネル)だより　貫通特別号

桧原３号トンネル整備事業を実施する桧原工区は、北塩原村が誇る「火の山と湖のくに・裏磐梯」の桧原湖北岸と南岸の地域生活・滞在活動拠点の周遊ルート上に位置し、地域の教育・医療・幹線交通網等の公共施設や都市・産業機能が集積する喜多方市（母都市）と直結する生活空間であり、連携・交通・流通軸の基幹施設です。しかしながら、急峻な地形による線形不良・幅員狭小のため、車両のすれちがい、雪崩の危険にさらされた交通の隘路となっており、約5ヶ月に及ぶ積雪期間は交通不能を強いられてきました。このため、桧原工区の、総延長5，340mは、平成2年度より改良・改築工事に着手し、現在、桧原3号トンネルの整備を進めています。

発注者　福島県知事　佐藤　雄平
管理者　福島県喜多方建設事務所　道路課
施工者　高橋・東栄特定建設工事共同企業体

桧原3号トンネル　進捗状況(8月25日現在)



<貫通点より磐梯山方面を望む>

<貫通掘削状況>

<貫　通　点>

<貫通点での握手>

＜8･9月の作業予定＞

・トンネル掘削工　　・インバート工
・掘削ズリ運搬処理
・覆工コンクリート工
・防水工

＜お知らせ＞

昨年の9月に安全祈願祭を執り行い、約1年をかけてトンネル掘削を進めてまいりました。地元の方々をはじめ、関係各位の皆様のご協力を賜り、8月8日の貫通式にて無事に貫通することができました。今後もしばらく工事が続きますが、工事の完成を目指し安全に施工をしていきたいと考えております。今後もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。